



# 七つ星

輝く笑顔 誇れる学校 ~さいたま市立七里中学校 学校だより~

平成 29 年度 第2号  
発行 平成 29.5.1

〒337-0012 さいたま市  
見沼区東宮下 1-1-1  
Tel 048(685)0603

## 教え合う文化を!!~中間テストを前にして~

校長 榎山 正春

始業式・入学式から3週間が経過し、いよいよ5月です。生徒たちにとって今月最大の関心事は15日(月)に実施される中間テストではないかと思えます。テストはそれまでの自分の勉強の成果を確かめる機会であると同時に、問題を作る先生方との真剣勝負の場でもあります。部活動停止期間は言うまでもなくそれ以前の段階から授業にどう臨むか、学校外で時間をどう使うか、自分のエネルギーをどうコントロールするか、しっかりと作戦を立てて取り組み、勝利を収めてほしいと思えます。

★

さて、昔も今も「頭がよくる薬はないかな?」と考える人がいます。そしてその答えは昔も今も「そんなものはない。」です。でも、「効率のいい勉強の仕方」というのはある・・・ようです。

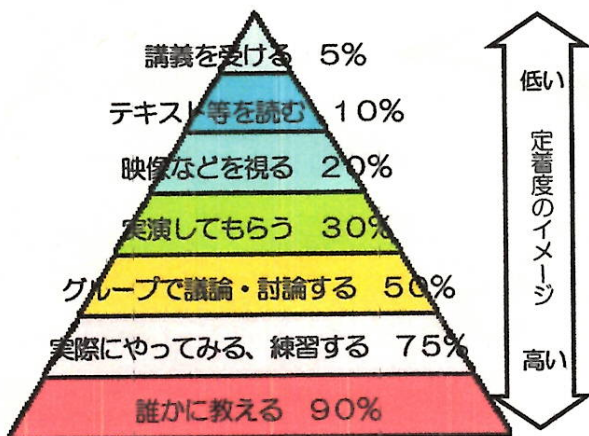
★

左下の図は、アメリカ国立訓練研究所 (National Training Laboratories) が一つの仮説として提示した、学習定着率を表すラーニングピラミッドです。これによると、昔ながらの講義スタイル、つまり「生徒は先生の話をお聴きだけ」の学習だと、半年後には95%が消えてしまい、残るのはたったの5% (!! )に過ぎません。もちろん学校では「話を聴かせるだけ」などという授業はとうの昔に絶滅し、教科書などを読ませたり写真や動画を見せたりもしていますが、こうした受け身の学習方法では定着度は高まりはするものの満足できるほどではありません。それに対して、「グループで議論・討論する」、「実際にやってみる、練習する」という生徒自身の主体的な活動を取り入れた場合、定着度はぐっと高まるようです。

そして最も学習効果が高いとされるのが「誰かに教える」という方法です。それは、教えるためには学んだことを一度整理しなければならず、理解が足りていなかった部分に気づくことができるからでしょう。「学ぶ」→「教える」→「また学ぶ・学び直す」というサイクルが抜群の効果を生むのです。

★

ラーニングピラミッド (Learning Pyramid)



「誰かに教える」には「教わる誰か」がいなければなりません。「教わる誰か」はとてもありがたい存在なのです。人は万能ではありませんから教科に得意・不得意があるのが当たり前、数学が苦手なら数学が得意な人に聞きまくる。恥ずかしがることはありません。「あなたのために尋ねてあげる」というぐらい厚かましくてちょうどいい、そう思います。その代り、得意なものは出し惜しみせず、苦手な人に教えてあげる。

…こんな具合に各教室が生徒同士、教え合う雰囲気  
で満ち満ちた学校にしていきたいと思っています。  
保護者の皆様のご理解・ご支援をお願いします。